

令和3年度 第3回協働のまちづくり推進委員会 会議録

日時	令和3年9月24日（金）13：30～16：10
場所	すこやかセンター2階会議室1
出席委員	小出会長、清水副会長、小川副会長、北崎委員、秋葉委員 岩澤委員、川野委員、高山委員、石井委員
欠席委員	新委員、岡委員、柳田委員
事務局	市民活動推進課 林田課長、佐藤副主幹、大木、岩井 まちづくりコーディネーター 吉見
傍聴者	なし

[会議次第]

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

- (1) 第2次協働のまちづくり推進計画に対する意見等について
- (2) その他

4 そ の 他

- (1) 実施事業について
- (2) とみさと市民活動サポートセンターについて
- (3) その他

5 閉 会

[会議概要]

会長	<p>次第3 議題</p> <p>－「協働のまちづくり推進委員会の運営に関する要綱」第3条第1項により、小出会長が議事の進行を務める－</p> <p>(1) 第2次協働のまちづくり推進計画に対する意見等について それでは(1)第2次協働のまちづくり推進計画に対する意見等についてに入ります。 事務局から説明をお願いします。</p> <p>－事務局より説明－</p>
会長	<p>ただ今、事務局から説明がございました。 取りまとめた意見を見て、皆さんの意見をお聞かせください。</p>
会長	<p>資料1を御覧ください。意見を出していただいた委員のほうから、補足説明をいただき、委員のほうから賛同なり、御提案をいただきたい。 それでは全体の部分で、「内容のボリュームが多く、全てを理解しきれない。」とあるが、ここについてはどうか。</p>
A 委員	<p>自治会の区長であり、その区長達の会の長でもあるが、それに関係する諸団体、社会福祉協議会、青少年相談員、富里小学校区連絡協議会、色々なまちづくり協議会やボランティアなど、普段の日常生活に出会わない言葉ばかりで、それらを整理整頓していくとなると膨大な量である。それで意見として申し上げた。</p>
会長	<p>私の理解としては、このまちづくり条例や推進計画は非常に膨大な量で理解しきれないと受け取ったが、今の話だと、様々な組織や団体のそれぞれの活動や状況があり、それらを把握することの大変さという意味もあると思った。</p>
B 委員	<p>そもそも全てを理解することは難しい。それよりもこの問題を生んでいる根本的なものはどこなのかということについて、会議をしていくべきではないか。</p>

<p>会長</p>	<p>これまでの推進委員会というものは、条例に基づいて、補助金の審査や、担い手発掘のためのアイデアや、ボランティア手帳の活用など、様々なものを協議してきた。それらは、条例を一から一つひとつ理解してやってきたものではない。その都度、上がってきた議題を通して、それが条例や計画のどこに該当するのかといったようにやっている。だから条例の部分について、話し合ってきていない。</p> <p>分かりにくいところもあるかもしれないが、議題を通して、該当する条例や計画はどこなのかという疑問を出していただければと思う。</p> <p>全体像の部分についての意見はここまででいいか。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p>
<p>会長</p>	<p>協働のまちづくりの理念と基本原則のところ意見があるが、ここについてはどうか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>「負担を求め合うものであってはなりません。」とあり、まったくその通りだなと思う反面、実際のところは、そうではない現状。</p> <p>自治会の役員にしても、押し付け合ってしまうのが現状で、その気づきを言葉にさせていただいた。</p>
<p>会長</p>	<p>これは推進計画の3ページの協働の領域の部分と、7ページの協働のまちづくりの理念の部分を目指す。</p> <p>基本的に協働という概念はそこからスタートしている。</p> <p>例えば、自治会の公園の除草作業は誰がやるのか。公園は市の財産なので、市がやらなければいけない。でも、自治会によっては自分達で管理しているところもある。</p> <p>どちらかが押し付け合う、求め合うものであってはいけない、みんなでやるという意味があり、それをここでは謳っている。</p> <p>今まではこの部分については触れていなかったため、大変いい部分に目を留めていただいたと思う。</p> <p>この部分について、委員は何か意見があるか。</p>
<p>C 委員</p>	<p>意見を出したが、求められているものとギャップがあると感じた。推進計画についての意見ということで、出すようお願いされていたのではないか。</p>

<p>会長</p>	<p>書き方について意見なのか。私は違う意味で捉えた。          具体的にどういうことに対して、どういう風なスケジュールでや          っていくのか。具体的なものを含めた提案だと思った。          ボランティア手帳の部分については、作成に自分も関わったが、          活用されていない現状を考え、検証をして、どうしたらいいか、そ          の方法について書いた。          文章の書き方や文言の中身について議論するとなると、意見とし          ては違ってくる。          17ページ以降の計画に対しての意見と思ったのは、具体的に示          されている計画の内容に対してのほうが、意見が言いやすいから。          計画にしても、自身の活動範囲に対しては言えるが、それ以外だ          と躊躇してしまう。それぞれ自分が思うところや活動範囲の中で意          見を出せばいいと思う。全部に対して意見は言えない。</p> <p>まだ総論の部分であり、具体的な意見が出にくいと思う。これか          ら計画の部分に関しては、具体的なものを出していき、他の委員か          ら意見をもらい、委員会としてまとめていければいい。          項目に対して、意見を一方的に押し付けるのではなくて、出した          委員と、それに対しての委員の意見を踏まえた上で進めていきた          い。          次に進んでいいか。</p> <p>－異議なし－</p>
<p>会長</p>	<p>11ページについての意見があるが、これについてはどうか。          前回申し上げた、啓発というところに該当してくる。          動画を作ったらどうかという意見などありましたが、改めて委員          会で考えようとなっているので、何か意見ありましたら、お聞きし          たい。</p>
<p>事務局</p>	<p>－欠席委員からの意見を紹介－</p>
<p>会長</p>	<p>啓発の件で、他にいかがか。</p>
<p>D 委員</p>	<p>一つは、イメージや思想を、広く一般的な市民の方々に広報する          という事。</p>

<p>C 委員</p>	<p>もう一つは、やはり協働というものは、少しハードルが高いため、やってみようというタイミングがある。</p> <p>富里市の財産は、市民の協力者であるサポートセンターのコーディネーターが育ってきていて、色々蓄積されている。</p> <p>コーディネーターの方々が色々アウトリーチする、活動場所へ出向き、対面で話し合う機会を作っていく。</p> <p>広く伝えるということと、具体的に顔を合わせる、こまめにアウトリーチして、人間関係を構築し、説明する。そういう方向性があると思う。</p> <p>協働という言葉を知りたいのか、富里市の協働のまちづくりを知りたいのかで切り口が変わってくる。</p> <p>協働というものを周知したいのであれば、一つの例がSDGsの中で、絵があると思うが、周知も色々あり、多くの場面で見られる機会が増え、絵や中の文字を見るようになってきた。漫画や絵など、そういう部分で入っていくと、子供たちにも分かりやすく、文書を読まない人達にも入っていきやすいのではないかな。</p> <p>どういう絵がいいか具体的には言えないが、子供達から募集するなどして、いくつか作成して、周知していけば、少しは協働というイメージが理解されていくのではないかな。</p> <p>富里市なりの協働のまちづくりを広く多く市民に周知したいとすると、違う切り口を探す必要がある。このメンバーで検討して、意見を出し合いながら進めていくべきである。</p>
<p>会長</p>	<p>賛同される委員の方もいらっしゃると思うが、協働というものの周知の必要性に関しては、委員会として意見をまとめていく。</p>
<p>E 委員</p>	<p>協働については、以前地域フォーラムを開いて、話し合った。その中の意見で、防災体制についての意見が多かった。</p> <p>そこで、協議会として取り組み、整備しようとなった。その一つとして、防災訓練があるが、この訓練を通して、どこにだれが住んでいるかが分かってくる。</p> <p>協働についても、委員や役員が集まって話し合う中で理解やイメージができてくるのでは。</p> <p>協働という言葉はあまり聞かれなくても、みんなで助け合っていけばいいという概念で落ち着いている。</p>

B 委員	<p>行政も一緒になってやっていかなければならない。何かをするにしても運営費がかかる。自分たちで集めることはなかなか難しい。地域にいろいろな小学校区があるが、温度差もある。行政に頼らないといけない部分もある。</p> <p>協働と名前だけ先走っている場合もあり、何が協働の形なのかわからない部分も多いのが現状である。</p> <p>様々な委員の意見を聞きながら、提案がある。協働という言葉に対するイメージとか、それぞれが持っていた知識がどうだったのか伺ってみたい。自分自身は協働という言葉が嫌である。なぜなら文字に含まれる「働」という字が強制的に見える。この文字を見た時にどういう印象を持つかが大事。ほとんどの人が知らないのであれば、すでに浸透している誰でも分かるような言葉に置き換えて、伝えたいことを伝えるほうがいい。無理に協働という言葉は売るのではなく、本当にやりたいことを伝えていくほうがいいし、そのためにはどうしたらいいか考えていくほうがいい。</p> <p>委員が、協働という言葉にどういうイメージを持っているのか聞いてみたい。</p>
会長	<p>先ほどから申し上げているが、言葉が非常に重要であるが、自分なりの意見をどんどん出していただき、そこに意見を出し合いながらまとめていく。一人の意見でどうこうすることではない。</p>
F 委員	<p>私も協働という言葉がピンとこない。掴みようがないので、何か他の言葉に置き換えられないか。今調べてみたら、コラボレーションとある。コラボと言ったほうが分かりやすいのでは。</p> <p>他の委員の意見のように、漢字で見ても分からない。言葉でしかないが、アプローチを変えたほうがいい。コラボであれば、TVでも多く見られ、扱われているため、分かりやすいのではないか。</p>
G 委員	<p>協働は知っている方が少ないのが現状。どういうことやっているのかの説明も難しい。</p> <p>市民にも分かりやすい言葉で、分かりやすい取組をしていくのが大事だと思う。</p>
会長	<p>いろいろ意見をいただいたが、協働という言葉にこだわらず、別</p>

<p>H 委員</p>	<p>の言葉に置き換えたら浸透していくのではないかという具体的な御意見もいただきましたので、委員会の共通理解として、まとめさせていただきます。</p> <p>自治会が市民活動のスタートというのが自論。自治会の掲示板に啓発ポスターを貼ることで多くの目に触れ、そういうところから刷り込まれていくのかなという思いであった。</p> <p>みんなで知恵を出してやって、自治会活動から色々なことを経験させてあげたいという思いがある。</p> <p>最近では市民活動団体が突出していて、自治会活動が目を向けられていない現状がある。その点も踏まえて、ポスターの案を出した。</p> <p>イメージとしては自治会で啓発し、興味を持ってもらうことがベースにあるので、文字にこだわらず、工夫していければいい。</p> <p>意見にもあった PR 動画については、その年で終わってしまっている。機会があればどんどん活用していただきたい。一つの方法として、既存のものを一つの機会に活用していくのもいい。</p> <p>意見を聞いて、文字に捉われず、分かりやすい表現は大事だなと思う。</p> <p>よくコラボレーションしている商品などを見ると「●●×●●」という表現で、何と何が協力してできたというものが、目で見分かる。パッと見て分かるイラストのようなものも必要なのかなと思う。</p> <p>会長の言う協働という文字を残したいという気持ちもある。SNSなど目に付くところで発信する方法や、自治会などの協力、多くの方の目に付くところに置くなどの方法もあると思う。</p> <p>私は自身の所属するところの立場で意見書や計画を見るので、この部分是一緒にやっていかなきゃいけないという部分もあり、その思いで意見をした部分もある。</p> <p>声をかけたり、直接話をしたりすることで、繋がっていく機会を作るといのも協働の一つであると考えている。</p>
<p>D 委員</p>	<p>言葉は分かりやすいほうがいいと思うが、一つは説明の仕方である。</p> <p>これまでの協働の一般的な説明の仕方は、地域の課題があって、それに市民と行政が一緒に取り組むというものであった。</p> <p>意見でもあった協働に対する嫌なイメージが引っかかっている、</p>

	<p>なぜか考えていた。</p> <p>協働の前には、自主的な市民活動というものが前提にある。それが自主活動であり、なおかつ自由で、楽しい、やりがいがあるというもの。協働は、それにプラスで行政が応援してくれるというものだと思う。</p> <p>いい部分というのは、行政からお金、場所、ノウハウ、広報、御墨付のような応援といったプラスアルファが得られる。</p> <p>けれども一方で、嫌な要素としては、窮屈感や不公益という部分がある。</p> <p>協働は、本当に好きなことだけをやるといふこととは違うが、これからの地域課題について一緒に取り組みましょうというよりは、好きなことを応援する仕組みですというようにするのも手であるのかなと思う。</p> <p>—その他意見、質問なし—</p>
会長	<p>市民活動感謝状贈呈の部分ではどうか。意見を出した委員から補足説明等あればお願いしたい。</p>
H 委員	<p>意見で出したとおりである。</p>
会長	<p>計画を立てる際に、否定的な意見があった。</p> <p>小さな活動でも、まちの財産として、評価をしてあげたいという思いで作った制度。最近では多く推薦されてきている。素晴らしい方々に支えられている富里市と評価できるのではないかな。</p>
C 委員	<p>感謝される側面もあるが、もう一方では、色々な事情で会の運営がうまくいかないと悩んでいる団体が非常に多い。</p> <p>それを広報などで感謝状が贈呈された記事などを載せることによって、その活動に参加してみようという意識に繋がる。そういう部分で関心を持ってもらいたいし、推薦する側もどんどん推薦して、全団体が一巡したとしても、新しい活動があれば、繰り返し継続して評価できるといい。委員会としても先を見据えて考えていって、この制度が続いていくようにして欲しい。1回もらったら終わりではなく、いろいろな視点から評価できるように。</p>

	<p>ーその他意見、質問なしー</p>
<p>会長</p>	<p>それでは22ページのボランティア手帳の効果的な活用について、補足説明等ありましたらお願いします。</p>
<p>C 委員</p>	<p>先ほど言ったように、作った当初はもう少し普及すると思っていたが、そこまで普及はしてこなかった。理由を考えると、どのような自己満足が得られるのか考えても、自己満足すらないのが現状。 インセンティブという言葉を出したが、どんなものがあるのか、またそのための予算がつくのか。作った方がいいが検証されないままきたので、なぜ使われないのか、普及しないのか等を検討するような機会が必要であると考え、意見として出した。</p>
<p>B 委員</p>	<p>意見の通りだと思う。一つのことを進めるにあたり、これをやろうと出してみた結果が上手くいっているのかどうかを確認することはすごく大切である。もしそれが本当にうまくいっていないのであれば、諦める、辞めるという選択肢もすごく大事。そこに拘り、他の大事なことが疎かになることのほうがもったいない。 出された意見を見ていて思うのが、最初に出てきた協働のまちづくりをみんなに広めていって、みんなで作っていくにはどうしたらいいかという部分に全て戻らと思う。ここが一番大事だと思う。 どうしたら一番いいかを議論されず、何の結論も出ないまま、次に進んでいっても、もったいない時間になってしまう。 どの項目も、いかに市民の方々に、協力してやってもらうにはどうしたらいいか、市役所の役割などをしっかり伝えていけば、自主的に進んでいくものだと思う。 一番根本にある部分について、話し合いを深めたほうが、委員の力を活かせるのではないか。</p>
<p>会長</p>	<p>まずボランティア手帳については、条例で担い手に触れている部分があって、作成した。 委員の中でも、対価がなければやらないのではという意見もあった。 それでもまず作ってみて、自身の活動記録を残すなどして活用してもらおうとなった。</p>

	<p>インセンティブについては、課題になっていたが、委員会では、その部分について踏み込んでいない。</p> <p>市内の業者などに、完了者に何か御褒美をあげたいが、協力いただけないか打診し、理解をしてもらおう。インセンティブといっても、市民活動については、税金を投入するものでもないと考える。</p> <p>協賛企業を募って、市民活動と企業を繋ぐのも協働。</p> <p>ボランティア手帳を子供たち全てに配ることはしていない。強制するものでもない。</p> <p>市内のある中学校では、申し出により全校生徒に配られ、子供達が自主的にボランティアをし、活用されたケースがある。そういつて繋がっていくことが理想である。</p> <p>ボランティア手帳の活用については今までも議論してきた経緯があるが、具体的な方法など何か提案などあればいただきたい。</p>
A 委員	<p>協議の場であるが、バランスよく話し合いができていない。司会進行を変えたほうが意見が活発になるのではないか。会長は言いたい事をまとめるので大変。</p>
会長	<p>先ほど市民活動はまず自治会からと言っていたが、その認識もそれぞれ誤差があると思う。前提にあるものがまず異なる。最近の自治会は、自治会に会費を払いたくない人や参加したくない人も多くいる。前提状況が違う母体から来ているので、話をスムーズにするために、工夫したほうがいいのではないか。</p>
会長	<p>発言に対して、自身の考えなどの意見をどんどん出していただくのはいい。意見を否定しているわけではない。</p>
B 委員	<p>先ほどの意見に全面的に賛成。会議の仕方自体を、もっと活発に意見を出し合えるような方法を検討したほうがいい。</p>
	<p>今の形の、意見は手を挙げて言う、会長がまとめて、それを伝えて終わる、そこから他にありませんかとなっても、まとめられてしまっているため、それ以上他の意見が出てこない。</p>
	<p>例えば私が喋りました。今の意見に対して他に何かありませんか。と聞いてもらえれば、1人の意見から広がって、沢山の方々の意見が出てくると思う。</p>
	<p>会長には豊富な経験であったり、御意見も含めてまとめていただければ、委員も意見が言いやすくなるのではないか。</p>

C 委員	<p>今の意見に関連するが、議題の中で項目一つ一つに突っ込んで意見を求めているが、時間的に無理があるのではないか。</p> <p>総合的に大枠で、こういうものにしたいと提示し、皆さんから賛成なり、反対なり求めて、意見をもらったほうがいいのではないか。そういう形で進めていかないと、突っ込んだ話になってしまい、短時間で解決できない。</p> <p>あらかじめ会議の進め方を提示したほうがいい。</p>
会長	<p>資料で配ってあるので、今日のポイントを絞って話すことにするのかどうか。意見をいただければありがたい。</p>
B 委員	<p>本日の議題は、いつまでに解決しなければいけないのか。</p>
会長	<p>この推進計画をパブリックコメントにかけるためには、準備があるので、今日意見をいただくようにした。</p> <p>パブリックコメントは、この推進計画を市民に提示して、それに対して、市民から意見をいただくもの。</p>
B 委員	<p>どのように周知されるのか。</p>
C 委員	<p>ホームページや広報で周知され、公共施設各所で、一定期間市民からの意見を募る。</p> <p>周知はされるが、出す人が少ない。それは市民の責任である。</p> <p>どの事業でもそうだが、一行でも意見を出すということをやったらどうか。委員の任期の中で、色々なパブリックコメントが出てくると思うので、関心のあるものを見つけて、意見を出したらいい。</p> <p>説明するよりも、取りあえず意見を出すことにトライする。</p>
E 委員	<p>意見があるから提示している。意見がない方は、それでいいと考えて意見を出していないと思う。</p> <p>意見を出した方が、その意見に対していろいろ意見を言われるのであれば、意見を出さないと思う。</p> <p>出した方にいろいろ説明を求めるのはどうなのかと疑問がある。</p> <p>意見を出してない方が、意見を出した方へ意見するなら、その意見をはじめから出すべきではないのか。</p>

<p>会長</p>	<p>事務局でまとめたものを読んでいただいただけでなく、取り上げたほうがいいと思い、そのような進行にした。</p> <p>御意見いただいたように、全部やっていると時間がない、テーマを絞ってやるというのであればそれでもいい。</p>
<p>E 委員</p>	<p>4月から委員になった人が多い。本計画も過去から続いているものもある。その過去がどうかは分からない。みなさん色々勉強なされてると思うが、自分の主観で考えるしかない。毎年同じことをやっているものもある。</p>
<p>会長</p>	<p>パブリックコメントを抜きにして、こういうことを委員会でやっていきたいと思いますという委員の同意があればそれでもいい。</p> <p>初めから結論ありきではない。総論として意見を言い合っているのは漠然としていてよく分からなくなってしまうこともある。</p> <p>本日はポイントを絞るか。</p>
<p>E 委員</p>	<p>計画の中では新規と謳われているものがある。まず新規と謳われたものに目をつけてみたらどうか。自身は新規に目をつけて意見を出した。前の事をどうこうではなく、新しく大事な部分があって新規で創設したであろうから、そのポイント大事にし、提案したほうがいいと思った。</p>
<p>会長</p>	<p>計画については、計画検討委員会のほうで1年間かけて検討されて出来たものである。</p> <p>この出来上がった計画に対して、委員から意見をいただいて、それを最終的にはパブリックコメントに反映させて、市民からも意見をいただくという流れ。</p> <p>計画は前年度の反省を踏まえた上ではなくて、新規の委員が検討して、事業について協議いただければ。</p> <p>—休憩—</p>
<p>事務局</p>	<p>本日の会議については、個々の意見を出し、委員会としての意見をまとめていただきかった。</p> <p>今からの進行としては、それぞれ市の取組を紹介させていただいて、それに対する意見があればいただく。</p>

<p>会長</p>	<p>次は10月に会議を予定しているので、意見を反映させたもので、また御協議いただく。</p> <p>それでは事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ボランティア手帳の効果的な活用の部分では、9月の広報でアナウンスをさせていただいた。その効果としては、ボランティア手帳を取りに来た市民の方がいる。</p> <p>インセンティブの部分では、計画のほうにも記載して、事業者に働きかけをすることになっている。市民活動を活性化するために賛同してくる事業者を募る。そこで提供していただける協賛品があれば、ボランティア手帳修了者に渡すという形を考えている。</p> <p>ボランティア手帳修了者、協力した貰った事業者については、市の広報、HP等で紹介していく方向でいる。</p>
<p>A 委員</p>	<p>協賛金などで貰える金額などは決まっているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>協賛品で返すことを考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>ーその他意見、質問なしー</p> <p>若者プロジェクトチームの検討・創設の部分については、現在16名の子供たちで、中学生から大学生までいる。市内在住、在学の子供たちで、現在第6回まで終わっている。3グループに分かれて、1つ目のグループは貧困、教育をテーマ、課題として、取り組んでいる。2つ目のグループは、日頃の通学、通勤にかかる道路の危険性など、自分たちの身近なところから課題を挙げて、道路環境整備をすることによって通学、通勤しやすくなり、外に出ていく若者の流出も防ぐことができ、持続可能なまちづくりに繋がると検討している。3つ目のグループは、環境美化活動によって、住み続けられるまちができると考えていて、まちをきれいにすることで、犯罪が少なくなっていく、住みやすいまちができると仮定し、取り組んでいる。</p> <p>意見をいただいた中で、「富里市はSDGsの理念に基づいて地域課題の解決方法を検討・事業を実施とのことですが、どのようなポリシーを持って事業を計画、実施するのでしょうか。」とあります</p>

	<p>が、具体的な表現もあるが、誰一人も残さないという基本理念を踏まえつつ、地域課題を検討している。若者プロジェクトのポリシーというところは、若者のまちづくりへの参画が大前提。若者が入ることによって、周りも巻き込みながら、まちが出来ていく。</p> <p>令和3年度ですでに実施されているため、計画書のほうの、令和4年度検討・実施の部分は、実施に修正する方向で事務局は考えている。</p> <p>また、「SDGsや地域課題に対する理解度は足りているでしょうか。」とありますが、第1回目にまちづくり協議会の方を招き、地域の課題について話をいただいた。また若者一人ひとりからも地域課題を挙げてもらっている。SDGsに関する理解に関しては、学校でも学んでいて、第2回目でも学習会として講師を招き、SDGsについて学びました。事務局としては、一定程度の理解はしているものと思っている。</p> <p>最後に若者の流出についての意見ですが、テーマを絞り込む前にその部分については触れており、課題として認識している。どのグループも課題に対する取組によって、流出を防げると考えている。</p> <p>今回いただいた意見は、若者プロジェクトチームにもお伝えする。</p>
E 委員	SDGsについては、市の職員も研修など受けているのか。
事務局	男女共同参画の勉強会でやっているのと、今年度については、希望する職員に、オンラインで学ぶ機会が設けられている。
E 委員	SDGsについて、いろいろな資料を集めて読んでみたが、いまだによくわからない。
事務局	<p>SDGs 学習会の資料を、講師の方に了解を得た上で、配付させていただく。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p>
事務局	多文化共生による市民活動の促進については、富里市に住む外国人の割合は、5.8%くらいで、5%を超えているのは非常に高い数字となっている。

	<p>外国人住民も同じ市民と認識し、文化の違いも理解しつつ、一緒に暮らしていくことに着眼をしている。</p> <p>外国人の方にも、市民活動に参加してもらいたいという思いもある。</p> <p>意見で「外国人住民活動団体の地域参画のための立ち上げをサポートセンターが担えないか。」とあるが、サポートセンターはそのような人材を見つけ、そのような組織ができることを目指している。外国人が、日本人の組織する団体へ入って活動する、または自身で立ち上げ、同じ外国人を支え合うような立ち上げも地域でやっていければ。外国語を教えるということも考えられる。そのような人材をまず見つけるのが大事だと思う。</p> <p>補足であるが、立ち上げに関しては、サポートセンターでは、支援という立場をとらせていただく。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p>
事務局	<p>事業者による地域活動の促進については、市民活動団体の資金不足という課題が現状であるので、そこでも一躍担えるのではないかな。市民活動に賛同する、応援する事業者、組織ができればと考える。</p> <p>地域活動の情報を商工会でも把握できていないとのことで、この部分は支援を受けている団体から情報を得られればと思っている。</p> <p>実態調査などで記載を設け、該当があれば、取材をしていく。</p>
G 委員	<p>活動に関して何かインセンティブをつけることは、なかなか浸透しにくい。</p> <p>ロータリークラブ、ライオンズクラブなどから協賛や応援を得るような、そういうアプローチの方法もいいのではないかな。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p>
事務局	<p>地域づくり協議会等の地域課題を共有については、7月に各協議会の代表に、各種事業の説明や意見を伺った。以前に意見交換会を実施した経緯がある。</p> <p>今年度は先進事例や他の地域の事例を知りたいという意見をいただいたので、他のエリアからの方を招いて、広域的な部分でも情</p>

事務局	<p>報を共有したり、助け合う仕組みができたらと考える。</p> <p>地域課題の共有については、情報交換する場を設ける予定である。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p> <p>地域づくり協議会等への人的支援については、計画書にもあるように、有識者のアドバイスが必要となる場面を想定し、項目立てした。</p> <p>その有識者の意見を聞きたい時に、派遣をしていく。</p> <p>派遣にかかる費用の有無があるが、地域づくり協議会には、事業補助金があるのでそちらも活用できるので、問題解決に繋げてもらえればと考える。</p> <p>市の職員も説明にとあるが、広報情報課のほうに、職員を派遣して説明を聞けるメニューがある。そういうところでも説明を聞ける機会があるので、活用していただければと思う。</p> <p>メニューにない場合には、担当部署へ直接相談に行っていただければと思う。</p>
A 委員	<p>地域づくり協議会とは。</p>
事務局	<p>小学校区を単位として組織をしている地域のネットワークを指す。</p> <p>地域により組織の名称が異なるので、地域づくり協議会等という記載になっている。</p> <p>協議会の構成に関しては、自治会長、防犯、市民活動団体、民生委員、様々な方々で組織されている。</p> <p>計画の中でも、米印を付けて地域づくり協議会についての説明は記載があるが、計画書の中に説明を入れてみるなど検討する。</p>
H 委員	<p>自分の住む地域は、協議会の活動が活発である。</p> <p>そういう活動がもっと知られたほうがいい。</p>
事務局	<p>地域づくり協議会については、ニュースレターのほうで、紹介させていただいた。</p> <p>さらに活動が活発になるように、情報発信に力を入れていく。</p>

事務局	<p>－その他意見、質問なし－</p> <p>異分野、異世代の交流については、きっかけをサポートセンターが作ったらと考える。</p> <p>今年度については、まだ日程は未定であるが、異分野、異世代の交流ができる場を設けることを考えている。</p>
事務局	<p>－その他意見、質問なし－</p> <p>中間支援組織などとの連携については、連携組織として、社会福祉協議会、生涯学習課を記載している。</p> <p>10月28日に、この3つの部署が集まって意見交換会を実施する。</p> <p>社会福祉協議会でも、ボランティア体験を実施しているが、こちらも同じような事業実施をしている。</p> <p>また生涯学習課では、サークル、団体の登録があり、サポートセンターでも市民活動団体の登録、社会福祉協議会ではボランティア団体の登録があり、それぞれに団体登録があり、把握している。</p> <p>それらを踏まえて、情報の共有や連携を図っていく。</p>
事務局	<p>－その他意見、質問なし－</p> <p>協働のまちづくりを推進する課の充実については、意見として地域担当職員制度に触れられている。</p> <p>推進内容では、その制度に代わるものとして、市民活動推進課の職員とまちづくりコーディネーターが会議に出席とある。</p> <p>近隣市町に話を伺ったところ、区長回覧に管理職が行き、回覧物を渡す際に、要望を受け取り、課題の該当する部署へ投げる仕組みでやっている。</p> <p>富里市では、回覧物配布が113ヶ所ある。ただ用紙をいただいでくるのであれば、実効性のある市民活動推進課職員と、まちづくりコーディネーターが協議会の会議に出席して、情報収集をし、庁内協働推進委員と連携するような、横断的な流れのほうが合理的と考える。</p> <p>会議への出席については、来月に第一小学校区まちづくり協議会の会議に出席予定である。</p>

	<p>また場所によっては、コロナ禍で会議が開けていないところもある。状況を見ながら地域と相談し、実施していければと考える。</p> <p>また地域のイベントがあれば、そちらにも出席し、関係づくりを進めていきたいと考えている。</p>
会長	<p>この部分については計画検討委員会でも、意見が出た部分である。順次進んでいくと期待をしている。</p>
E 委員	<p>推進委員会から総括意見が出されているが、その中で「地域課題を共有して解決していくため、行政のパートナーである市民とのつながりを深めるために有効な制度の導入を検討していただきたい。」とある。</p> <p>なかなか難しいところもあるかと思う。</p> <p>いろいろな会議を庁内でやっていると思うが、自身が出席する会議で、情報が共有されておらず、話が分からないといったことがあった。市として横の繋がりができていないと感じる。</p> <p>地域担当職員制度を活用して、必ず情報を共有するといったことが必要。</p> <p>会議に、市の方が来ると引き締まり、参加者も多くなる。市の方と話したい、情報を得たいという思いがある。</p> <p>市としての態度を示す必要があると思う。情報が伝わらないのは問題であるので、そういう制度を考えてもらいたいと思いい見を出した。</p>
事務局	<p>出席した会議の中で、市役所に繋げるものの他に、市民活動団体が解決できることも考えられる。市民活動推進課は担当課に地域課題の提供をし、市民活動団体へはコーディネーターが情報提供し、解決へ繋げるということを考えている。</p> <p>話し合われた意見は、共有をさせてもらう。</p> <p>計画にも記載があるとおり、小学校区単位を想定している。</p> <p>協議会のない浩養小学校区、七栄小学校区についても対応ができるよう、やり方を検討していく。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p> <p>(2) その他</p>
会長	<p>それでは(2)その他について、委員の皆様から何かございますで</p>

C 委員	<p>しょうか。</p> <p>意見などは、誰が書いたか分かると、イメージしやすく意見がしやすいのではないか。資料は会議のための資料なので、名前があると、人となり分かり、意見や質問がしやすいのではないか。</p>
会長	<p>以前から委員を守るために、守秘義務について触れてきた。委員会の中だけで使われるのであれば、いいと思うが、それが誤って外部に漏れてしまったリスクを考え、会長として委員の身分を守るために意見をした。</p> <p>委員会の名前出しについては、委員の了解を得て上でやらないといけない。</p> <p>今後そういった意見等については、どうするか。</p>
A 委員	<p>文書のところで、意見を公表していいか「はい、いいえ」を選んだらどうか。</p>
F 委員	<p>賛成である。自分の発言に責任を持つわけだから、いいと思う。</p>
事務局	<p>この委員会の議事録も HP で公開しているが、特定されないように公表しているので、資料についても了解をいただいた委員についても特定されないような表記とさせていただきます。</p> <p>確認だが、文書の中で「はい、いいえ」を選択するという形でいいか。</p> <p>ー異議なしー</p> <p>協議事項としては以上で、よろしいでしょうか。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p> <p>それでは、進行を事務局へお返しいたします。 御協力ありがとうございました。</p> <p>次第4 その他 (1) 実施事業について</p>

事務局	<p>【とみさぼニュースレターVol.22 について】</p> <p>【とみさと協働塾について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン・スマホ活用相談会</li> <li>・新たな人を巻き込む活動づくりのコツ</li> </ul> <p>【夏休み！小学生ボランティアについて】</p> <p>【まちづくりサポーター養成講座について】</p> <p>【とみさと市民活動フェスタの延期について】</p> <p>ー以上を事務局より説明ー</p>
事務局	<p>それでは、事務局からの説明について、質疑などございましたら、お願いします。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p>
事務局	<p>(2) とみさと市民活動サポートセンターについて</p> <p>【とみさと市民活動サポートセンターの利用状況について (報告)】</p> <p>ー実績表により説明ー</p>
事務局	<p>【相談・問い合わせ対応記録一覧について (報告)】</p> <p>ー資料により一部抜粋し、説明ー</p>
事務局	<p>それでは、事務局からの説明について質疑などございましたら、お願いします。</p> <p>ーその他意見、質問なしー</p>
事務局	<p>(3) その他</p> <p>委員の皆様から何かございますでしょうか。</p>
F 委員	<p>あと何回あって、何を話さないといけないのか。</p>
事務局	<p>推進委員会につきましては年5回を予定しているの、あと2回の予定である。</p>

	<p>次回は御意見いただいた計画の部分で御意見をいただくのと、今現在補助金の申請を受け付けているので、申請があれば審査会もある。</p> <p>5回目は年を開けて、1月に予定をしている。そちらでは今年度の取組に対する総括意見について御協議いただく。</p> <p>－その他意見、質問なし－</p> <p>－事務局より次回開催日の説明－</p> <p style="text-align: center;">(閉会)</p>
--	---